

# 战后秩序下的尖阁诸岛

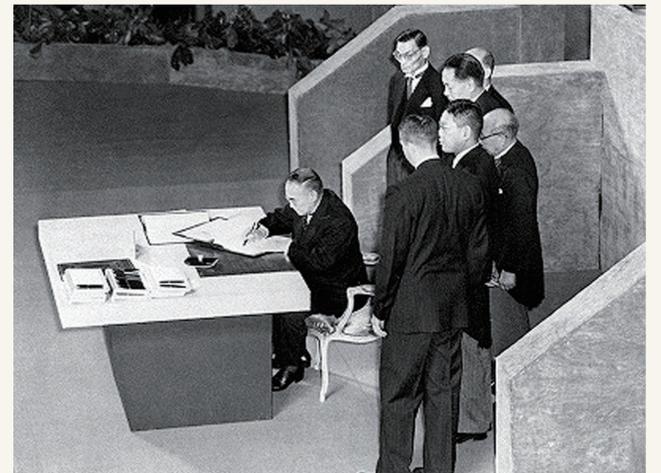
## 尖阁诸岛在二战后秩序和国际法体系中，从始至终一直都是日本的领土。

美国从战争期间就将尖阁诸岛视为冲绳的一部分，在美国施政下，尖阁诸岛隶属八重山诸岛管辖，基本维持与二战前相同的状况。

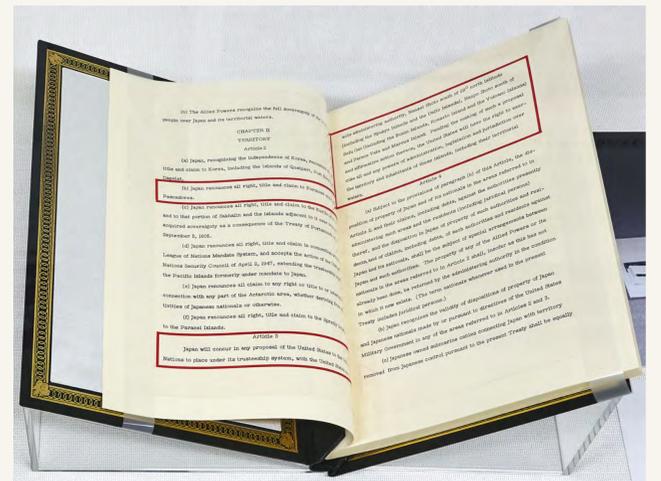
1952年（昭和27年）4月，《旧金山和平条约》生效后，冲绳包括尖阁诸岛在内的领有权留在日本，琉球列岛作为“北纬29度以南的西南诸岛”，正式被置于美国的施政之下。

之后，根据1972年（昭和47年）5月15日的《冲绳返还协定》，冲绳包括尖阁诸岛在内的施政权被归还给了日本。

如上所述，尖阁诸岛在二战后秩序和国际法体系中，从始至终一直被视为日本的领土。



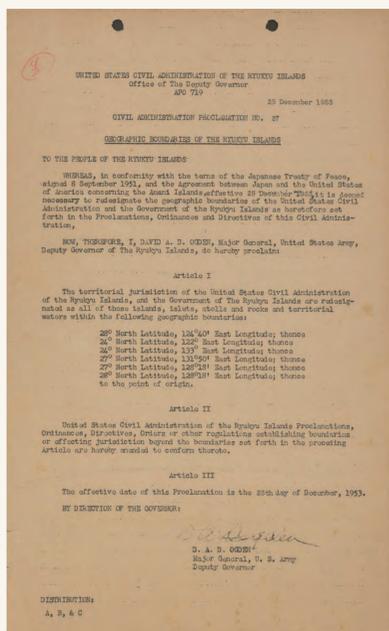
サンフランシスコ平和条約調印 1951年9月8日  
写真：共同通信社



サンフランシスコ平和条約

第二章(領域) 第三条

日本国は、北緯二十九度以南の南西諸島(琉球諸島及び大東諸島を含む。) 壠婦岩の南の南方諸島(小笠原群島、西之島及び火山列島を含む。) 並びに沖の鳥島及び南鳥島を合衆国を唯一の施政権者とする信託統治制度の下におくこととする。このような提案が行われ且つ可決されるまで、合衆国は、領水を含むこれらの諸島の領域及び住民に対して、行政、立法及び司法上の権力の全部及び一部を行使する権利を有するものとする。

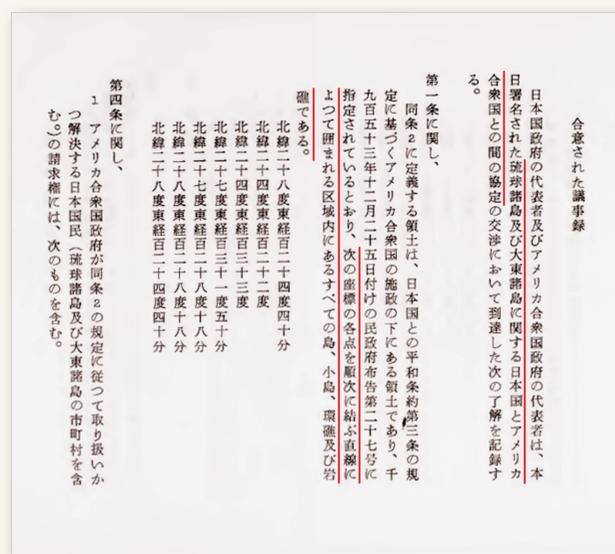


### 米国民政府布告第27号 (琉球列島の地理的境界)

第1条で琉球の範囲を緯度経度で指定

1953年12月25日、米国は、「米国民政府布告第27号」を発出し、琉球列島の地理的境界を緯度経度で明示した。その範囲には尖閣諸島が含まれている。

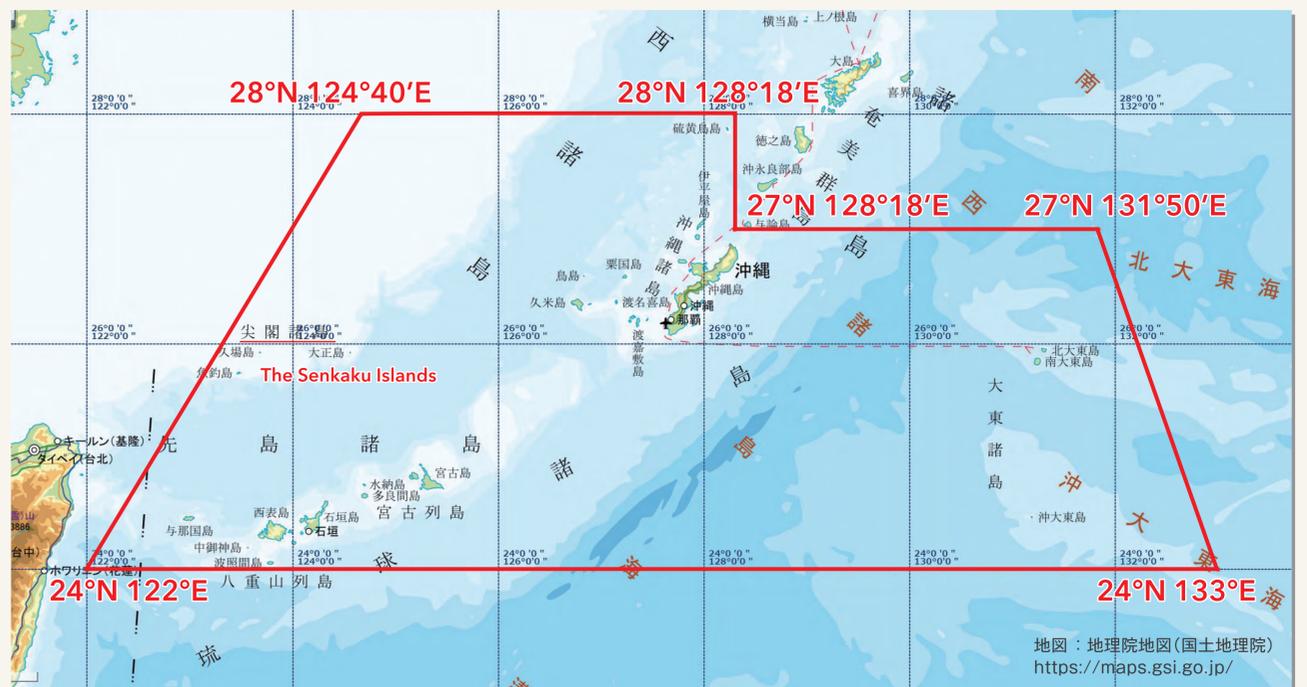
USCAR Office of The Deputy Governor  
1953(昭和28)年12月25日  
所蔵：沖縄県公文書館



### 沖縄返還協定 合意された議事録

1972(昭和47)年、沖縄返還協定により地図上の直線で囲まれた区域内の全ての島が返還された。この対象区域に尖閣諸島も含まれている。

所蔵：国立公文書館



地図：地理院地図(国土地理院)  
<https://maps.gsi.go.jp/>